

**参考資料：**

本資料は2006年1月18日（米国時間）にAT&Tが発表したリリースの抄訳です。

原文は<http://www.sbc.com/gen/press-room?pid=4800&cdvn=news&newsarticleid=22048>に掲載されています。

2006年1月23日

## AT&T、ICBCでビデオ会議ネットワークを導入 ～台湾の銀行業界で初～ ～能率向上と顧客サービス強化を実現～

台湾・台北発：中国国際商業銀行（The International Commercial Bank of China、以下ICBC）は本日（台湾18日）、台湾の銀行業界で初の大規模ビデオ会議ソリューションの稼働を開始しました。

ICBCは、台湾の75カ所以上の支店を結ぶこの高機能ビデオ会議ネットワークの設計と構築にAT&Tを選定しました。今後、日本、欧州、米国の拠点も接続する予定です。契約条件は公表していません。

ICBCは、今回のビデオ会議ソリューションを導入することで、行員向けの研修（新商品・サービス研修）を短期間で実施できます。これにより、新商品・サービスの市場投入までの期間が短縮されることで競争優位がICBCにもたらされるだけでなく、優れた顧客サービスおよびサポートが促進されます。また、定期的に「バーチャル」な支店会議や、本店からのブリーフィングを行うことで、行員の会議出席のための出張を減らし、結果として効率と生産性を改善できるものとみています。

今回、世界の主要なグローバル通信企業が名乗りを上げ、激しい争奪戦となりましたが、厳しい選考プロセスの結果、AT&T台湾がその包括的なソリューションと現地チームの専門性を評価され受注しました。

ICBC本店秘書室のアシスタント・バイスプレジデント、チュウ・ウェイ・リュウ（Chiu Wei Liu, Assistant VP of Head Office-Secretarial Department at ICBC）氏は、次のように語っています。

「銀行業界の競争が激化するなかで、能率とコスト効率の向上はもちろんのこと、お客様へのサービス強化について、当行は常に新しい手法を探し求めてきました。AT&Tが提供するターンキー・ソリューションには大変満足しています。お客様はすでに、強化された当行の通信インフラの恩恵を享受しています。」

AT&T ビジネス・アジア・パシフィックのバイスプレジデント、スティーブ・ロウ（Steve Lowe）は、「今回の案件はAT&Tがアジア太平洋地域で手がけたネットワーク統合プロジェクトの中でも最大規模の、また最も複雑なもののひとつでした。」と話しています。

ロウはまた、「銀行業界は、厳しいセキュリティ、信頼性、品質に関する要件で、群を抜いて高い水準が求められます。ICBCがこの画期的なソリューションの導入をAT&Tに任せる決定をされたことを、私たちは大変喜ばしいことと受け止めています。」と、語っています。

今回のソリューションの第1フェーズで、ICBCの台湾全域の支店を結ぶ先進MPLS (Multi-Protocol Label Switching) ネットワークが構築されました。次のフェーズではビデオ会議ネットワークの統合が実施され、AT&Tはビデオ会議機器ベンダーや現地ネットワーク事業者との連携など、ソリューション導入のあらゆる面で責任をもって作業を進めました。

###

### 新生AT&Tについて

AT&T Inc.は米国内最大、そして世界でも屈指の通信事業持ち株式会社です。AT&Tブランドのもと、グローバルに事業を展開するAT&T企業グループは、企業向けIP通信サービスで世界的な主要事業者であるだけでなく、高速DSLインターネット、市内および長距離通話、電話帳出版および広告サービスにおける米国最大の事業者です。AT&T Inc.は、米国随一の携帯通信事業者として5,200万以上の顧客を擁するシンギュラー・ワイヤレス社 (Cingular Wireless) の株式を60%保有しています。

AT&T Inc. ならびにAT&Tのサービスに関する詳細は[www.TheNewATT.com](http://www.TheNewATT.com) をご覧下さい。

© 2006 AT&T Knowledge Ventures. All rights reserved. Subsidiaries and affiliates of AT&T Inc. provide products and services under the AT&T brand.